

わかくさ学級2年 道徳科学習指導案

令和7年1月25日(土)

2年わかくさ2組 6名 授業者 石川 裕貴

- 1 主題名 みんながささえるいのち 内容項目:D(17)生命の尊さ
- 2 教材名 「空色の自転車」 光村図書
- 3 ねらい 車にはねられ、生死をさまよう「かんた」や、彼を見守り励ます家族や先生の懸命な姿などを通して、命はどうして大切なのか考えさせ、かけがえのない生命を大切にしようとする心情を育てる。

4 展開

	学習活動(主な発問と予想される児童の反応)
導入	<p>1. 毎日の中で「いいな。」と思うことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none">・ともだちとあそぶこと。 ・こうていであそぶこと。・ごはんを食べること。 ・ゲームをすること。 <p>*これができなくなったら…。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;">【めあて】いのちは、どうしてたいせつなのかかんがえよう。</div>
展開	<p>2. 「空色の自転車」を聞き、物語の流れを整理する。</p> <p>*P138、139の挿絵を提示し、内容を整理。</p> <p>→どのようなことが起きましたか。</p> <ul style="list-style-type: none">・「かんた」がじこにあった。 ・いのちはたすかった。 <p style="padding-left: 40px;">『一生目がさめないかもしれない』</p> <p>3. お父さんやお母さんは、どのような気持ちで「かんた」の世話をしたのか、考える。</p> <p>*3か月という長さをカレンダーで可視化する。</p> <ul style="list-style-type: none">・はやく目をさましてほしい。 ・こえをかけつづければきこえるかも。・あきらめない。 <p>4. 足を動かす訓練をしながら、「かんた」は、どんなことを考えていたか話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none">・またじてんしゃにのりたいな。 ・みんながおうえんしてくれてうれしい。・ぜったいなおすぞ。
終末	<p>5. 自分の命について考えたことをロイロノートにまとめ、発表する。</p> <ul style="list-style-type: none">・いのちをたいせつにしなければならない。 ・いのちはたった1つしかない。 <p>6. 振り返り</p>

5 評価

- ・「かんた」の経験や「かんたの家族」の気持ちを考える活動を通して、生きることのすばらしさに気づき、大切にしようという気持ちをもつことができる。